

# つばさ NO.1

平成31年 4月  
発行  
宿毛市教育委員会  
教育研究所内  
教育相談センター  
(ふれあい教室)

新年度が始まりました。様々な出会いの中で子どもたちが大きく成長していってくれることを願っています。

今年度も教育相談センター（ふれあい教室）の月々の会報として「つばさ」を発行します。

教育相談センターは、主に不登校児童生徒やその保護者の支援を目的とする機関です。

業務の中の支援活動としては

- ① 不登校児童生徒に関する悩みを専門家に相談するカウンセリング活動
- ② 保護者を対象とした会（翼を守る会）の実施
- ③ 不登校児童生徒の教科学習や体験活動の支援・指導
- ④ SSW（スクールソーシャルワーカー）の学校・家庭訪問
- ⑤ 一般教育相談への対応 等があげられます。



本年度の職員は、原 道夫（主任相談員）・近澤ゆみ子（SSW）・柴岡由美子（SSW）・濱田淳子（SSW）の4人です。また、教育研究所（所長：高見 匡・研究主任：倉本千春）ともタイアップしていきます。よろしくお願いいたします。

## 活動内容の紹介

- カウンセリング（教育相談）・・・ 子どもに関することを専門家に相談します。

本年度は、毎週月曜日と木曜日を相談日（変更になっています）とします。相談できる時間帯は下記のようになります。相談時間はお一人約50分です。何か悩み事や相談事などがあれば、遠慮なさらずにぜひご利用下さい。

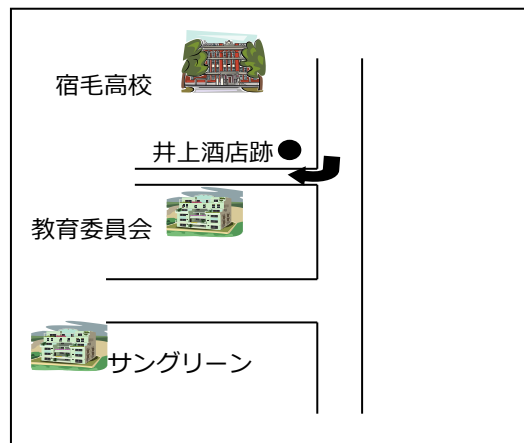
○4月の予定：8日（月） 11日（木） 18日（木） 22日（月） 25日（木）

○午前 9：00～12：00 午後 14：00～16：00

○専任カウンセラー 中家 愛美 カウンセラー

## ○所在地 及び 連絡先

教育研究所  
(教育相談センター)  
宿毛市長田町3番80-11  
☎63-1127  
(担当者：原)



## ➤ 翼を守る会

宿毛市に住んでいる、不登校や不登校気味な児童・生徒の保護者の方との会です。保護者の皆さんや家族は、他人には計り知れない悩みや苦悩があると思います。この会は少しでも心の負担が軽くなればと願ってできた会です。堅苦しい話し合いではありません。手芸作品などを作ります。手作業をしながら語り合いませんか。語り合うことによって、気持ちが楽になることもあると思います。毎月1回 13時30分～15時、ふれあい教室で行います。参加してみませんか。

➤ SSW (スクールソーシャルワーカー) とは

子供たちが日々の生活の中で出会ういろいろな困難な状況などを、解決の方向に支援していくものです。保護者の皆さんと学校や関係機関とをつなぐ役割です。

スクールソーシャルワークって何？

子どもたちが日々の生活の中で出会ういろいろな困難を、子どもの側に立って解決するためのサポートシステムです。日本では、1980年代の半ばから必要性を訴える声が上がりはじめました。徐々に関心を抱く人が増えつつありますが、まだ制度として導入される段階にまで至っていません。

現在、米国を中心として世界の多くの国々で取り入れられ、現在も広がっています。

子どもたちを取り巻く環境は厳しく、彼（彼女）等は絶えることなしに、さまざまな形で苦痛を訴え続けています。こうした現実を念頭に置くと、子どもを中心にした支援体制の必要性を痛感しないではいられません。

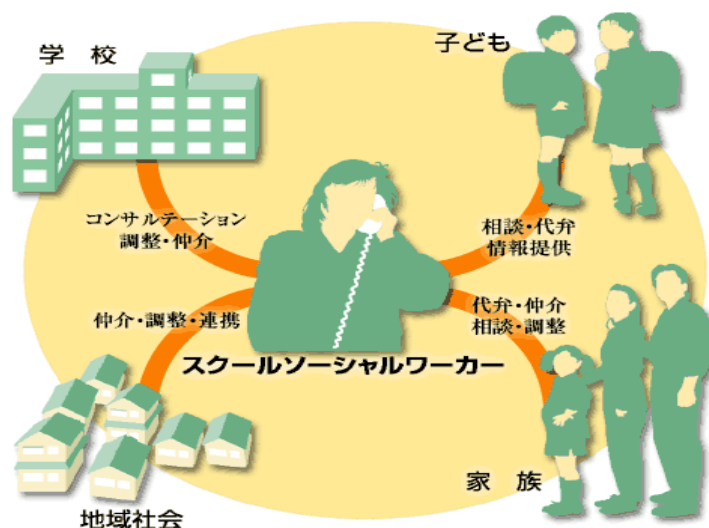


**SSWの基本的な姿勢**

- 一人ひとりの子どもを個人として尊重します。
- 子どものパートナーとして一緒に問題解決に取り組みます。
- 子どもの利益を第一に考えます。
- 秘密を守ります。
- 問題よりも可能性に目を向けます。
- 物事を自分で決めるようにサポートします。
- 個人に責任を求めるのではなく、環境との相互影響に焦点を当てます。

**SSWはこんなことをします**

- 話によく耳を傾けます。
- 一緒に活動します。(スポーツ・ゲーム・音楽)
- 勉強がしたければ手伝います。
- 親との間に立って、気持ちを代弁します。
- 学校との間に立って、調整や仲介をします。
- 地域のいろいろなサポート資源を紹介します。
- 必要な情報を提供します。



\* 特定非営利活動法人「日本スクールソーシャルワーク協会」 Web より抜粋